

平成29年度福井県庁温室効果ガス排出量等状況

平成29年度の温室効果ガス総排出量（二酸化炭素換算値）は、105,174t-CO₂で、福井県庁地球温暖化防止実行計画（第4期）の基準年度である平成25年度と比較して7.7%減少しました。

これは、電力事業者の基礎排出係数が改善し、電気の使用によるCO₂排出量が減少したことや福井県の事務事業におけるエネルギー使用量が原油換算で5.5%減少したことが要因として考えられます。

「福井県庁地球温暖化防止実行計画」（福井県庁エコオフィスパラン）は、地球温暖化対策の推進に関する法律第21条第1項に基づき、福井県庁の事務・事業により排出される温室効果ガスの抑制することにより、県自らが地球温暖化防止策を実施するとともに、県民、事業者および市町の地球温暖化防止に向けた積極的な活動を促進することを目的にその実行内容を定めています。平成30年3月に改定した「福井県環境基本計画」第3編第2章第4節を「福井県庁エコオフィスパラン第4期計画」として位置づけ、県庁自らの温室効果ガス排出量削減に取り組んでいます。

第4期計画の計画期間は、平成30年度～平成42年度までとしています。

○平成25年度実績と平成29年度実績

項目		H25年度の 実績	H29年度			
			実績	対H25年度比		
温室効果ガス総排出量 ^{※1} (CO ₂ 換算値)		t-CO ₂	113,930	105,174	△ 7.7%	
直接 効果 が あ る 項 目	電気使用量	千 kWh	124,547	118,809	△ 4.6%	
	燃料 使 用 量	ガソリン	kl	1,355	1,292	△ 4.7%
		(うち公用車)	kl	(1,316)	(1,292)	△ 1.8%
		軽油	kl	509	516	1.4%
		(うち公用車)	kl	(218)	(224)	2.6%
		灯油	kl	2,757	2,534	△ 8.1%
		A重油	kl	6,281	5,470	△ 12.9%
		LPG	t	98	94	△ 3.7%
		都市ガス	千m ³	172	438	154.3%
ジェット燃料		kl	158	155	△ 1.7%	
間 接 的 に あ る 項 目	水使用量	千m ³	2,398	1,965	10.4%	
	複写用紙使用量	t	368	403	△ 3.4%	
	可燃ごみ発生量	kg/日	2,440	2,240	2.2%	
	不燃ごみ発生量	kg/日	527	389	△ 21.7%	

※1 温室効果ガス総排出量中の電気使用量分のCO₂排出量はそれぞれの年度の基礎排出係数を用いて算定している。